

【公益社団法人 小樽法人会会長賞】

とても奥深い税

小樽市立西陵中学校 一年

加藤 興汰

税で身近と言えば消費税。消費税は、買い物するときに払う税である。現在の消費税率は、十パーセントだが十円ガムは十一円にならない。それは、軽減税率というもので八パーセントのままである。軽減税率が適用されるのは、生活に必要な物らしい。けれど子供を育てるのに必要なオムツは、軽減税率対象外なのでそれはなぜだろうと思っ

た。
なぜ消費税率が十パーセントに変わったのだろう。それは、少子・高齢化と名前の通り子供や若い人が少なく、高齢の方が増えていることが原因なのかもしれない。税には、たくさん種類がある。高齢者の方がもらうことのできる年金は、市民税と所得税という税から成り立っており、課税対象となる。市民税などから成り立っているため消費税率アップとは、またちがうのかもしれないが、少し関係があるのかもしれないとも思った。高齢化の現状だが、二〇二〇年は、二・〇六人で一人の高齢者を支えていた。でも、これからさらに少子・高齢化が進めば一対一になったり、一対二になったりと支える側が支えてもらう側よりも人数が少なくなってしまう。するとまた税率がアップされてしまうかもしれない。

七月二十三日に開催された東京オリンピックは、無観客で行われた。東京オリンピックには、三兆円超えの大金を使った。この三兆円にはもちろん税金が使われている。本来ならば観客がいっぱい来て入場料などで使ったお金を巻き返すが、無観客だったため大赤字となった。そして、オリンピックを中止すると一兆超えの損失らしい。だから開催するしかなかったとも言える。注目するべきポイントは、その大赤字をどうやって巻き返すのかという点だ。おそらく税金を使って借金を返していくのだろう。逆に税というシステムがなければどうしようもないから、日本は税に救われたといっても過言ではない。そう考えると様々な場面においても、いつ税率がアップされるか分からない。

税というのは、とても奥深い。今回は、説明に三つ四つ税の種類を紹介したが、他にも国税か地方税か、から直接税、間接税など、そしてたばこの税や酒の税など細かく分かれている。

初めに、十円ガムについて書いたが、それよりも身近なのは、教科書だ。中には、有料のものもあるが、ほとんどは無料だ。なぜ無料なのか。それは、働いている人が税金を払ってくれているからだ。サッカー選手のとてもしごい選手では、一億円ほどの税金を払っているという。だからこそ私たちは、税金を払ってくれている人に感謝し、将来私たちが今まで支えてくれた人に返さないとならない。そうして助け合っていく、それが税というものだ。